

「児童虐待被害者支援策の新展開」



日時 2014年7月12日(土)

午後1時-5時半(開場12:30)

会場 東京大学本郷キャンパス

経済学研究科棟地下1階 第一教室

プログラム

司会:川越敏司(REASE、公立はこだて未来大学・教授)

13:00-13:05 開会の言葉 松井彰彦(東京大学経済学研究科・教授)

13:05-13:45 「児童虐待と“癒やされない傷”～虐待被害者の脳科学的研究～」
友田明美(福井大学子ども心の発達研究センター・教授)

13:45-14:25 「私たちは何を語り、何を語っていないのかー「児童虐待」問題を解体する」
内田良(名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部・准教授)

14:40-15:20 「児童の教育・発達・虐待:経済学の視点」
赤林英夫(慶應義塾大学経済学部・教授)

15:20-16:00 「児童虐待と修復的正義」
小長井賀與(立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科・教授)

16:00-16:40 「子ども虐待防止と支援の課題」
柏女靈峰(淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科・教授)

16:55-17:25 質疑応答

17:25-17:30 閉会の言葉 川越敏司

情報保障:手話通訳、文字通訳、磁気ループ

車イスをご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方、
点字レジュメ、拡大文字レジュメ、磁気ループをご利用の方は、
お申し込みの際に登録フォームにてお知らせください。

参加登録は <http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/> よりREASE公開講座ページへ

お問合せ: rease@e.u-tokyo.ac.jp

科学研究費基盤研究S 24223002「社会的障害の経済理論・実証研究」
研究代表者 東京大学大学院経済学研究科 松井彰彦

Research on Economy And Social Exclusion
社会的障害の経済理論・実証研究

社会的障害の研究から経済理論や社会の歪みをみつめ、経済学を考える